NIE実践報告

1．タイトル：☆切り抜き作品づくりでESD（持続可能な開発のための教育）に取り組む

2．学校名

愛知県立蒲郡高等学校

3．実践者名（代表者名）

山方元

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

公民「ニュースを学ぶ」　14人

6．単元（本時の学習課題）名

公民「ニュースを学ぶ」

7．目標(狙い)

メディアリテラシーなど学習した成果を新聞記事切り抜き作品作りで追うようして定着を図るとともに、持続可能は開発の課題について関心を持ち実践意欲を喚起させる。

8．評価の視点

複数の新聞社から、支持・批判や賛否について多様な意見を収集している。自分なりの意見を持ち、記事を分析し整理できる。課題解決へ向けて実践意欲を持っている。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

1学期：時事問題学習・新聞学習・メディアリテラシー・ニュース学、夏休み課題：新聞記事切り
2学期：世界の飢餓貧困と日本の飽食の学習、新聞記事切り抜き作品作り

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1．新聞記事切り抜き作品への取り組み方（1時間）・・・外部講師講演（NIE担当記者）
2．各生徒が関心のあるテーマだし、グループ結成（1時間）
3．個人による切り抜き作業（4時間）
4．講義（世界の飢餓貧困と日本の飽食）（2時間）
5．個人切り抜き記事の相互学習（1時間）
6．記事切り抜き作品グループ作業（4時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞をあまり読まない、社会に対して関心が低い生徒が多い現状のなかで、最初はテーマに関する記事を見つけられないなど、新聞の利用の仕方も苦手であった。切り抜きに取り組むことで新聞を再評価したり、新聞を読む力もついた生徒が少なくなかったと思う。

12．成果と課題

活字離れや新聞離れが進み、社会や公共性への関心も低い生徒の実態に対して、社会へ関心を持たせるための授業も並行して取り組んだ。その結果南北問題や福祉についての関心を高めた生徒もいた。しかし、社会的弱者への共感と課題解決に取り組む意欲喚起の授業をどうつくるべきか、NIEの手法もまだ未開拓のものも多く、2年間の実践でやり残したことが多い。今後もできる範囲内であるが、高校生のメディア環境をよく知り、生徒の目線で取り組んでいきたい。